□■Ｙａｍａｇａｔａ■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

山形産業保健総合支援センター　メールマガジン　第１８９号
2023年5月25日　発行

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□■Ｙａｍａｇａｔａ■□□□□□□

日頃より当センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。
今年度におきましても、これまで以上に、治療と仕事の両立支援対策の普及促進、メンタルヘルス対策への取組支援をはじめ、産業保健関係者への専門的研修の実施や、事業者・労働者等の皆様に対する産業保健啓発セミナーの実施、さらには、産業保健関係者や小規模事業場の事業者及び労働者等の皆様からの相談対応等を行ってまいりますので、ぜひ当センターを活用いただければと存じます。
本日は「さんぽ山形メールマガジン」の第１８９号をお届けいたします。
研修会・セミナーにつきましては、ＷＥＢ開催が中心となりますが、集会形式での研修会等開催においては新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じながら開催いたします。

◇◇保健師のつぶやき◇◇
本号では、当センターの渋谷産業保健専門職が日々の生活や仕事において感じたことをコラム「保健師のつぶやき」として掲載していますのでご覧ください。
https://www.yamagatas.johas.go.jp/healthnews/

◇◇トピックス◇◇
◆山形産業保健総合支援センターからのお知らせ
○山形県内の令和４年労働災害発生状況（確定）まとまる（山形労働局）
〇令和５年　山形県内における労働災害発生状況（令和５年４月末　速報）（山形労働局）
○騒音障害防止対策のためのガイドラインの改訂について（厚生労働省）
〇山形労働局第１４次労働災害防止計画について（山形労働局）
○令和５年度両立支援コーディネーター基礎研修のお知らせ（労働者健康安全機構）
詳しくは当センターホームページ　「お知らせ」をご覧ください。
https://www.yamagatas.johas.go.jp/news/

◆厚生労働省からのお知らせ　「2022年度版健康スコアリングレポート」発行について
日本健康会議・厚生労働省・経済産業省の3者より、健康保険組合および共済組合宛てに「健康スコアリングレポート」を提供しました。
「健康スコアリングレポート」とは、保険者単位および事業主単位（一部のみ）で、加入者の健康状態や医療費等について、全国平均や業態平均と比較したデータを見える化したものです。
各事業所における健康課題等の把握・整理に役立つ情報が多数含まれており、医療保険の保険者から健康スコアリングレポートの提供を受け、自社の健康課題を認識・共有していることは健康経営度調査の評価項目にも位置づけられております。
健康保険組合・共済組合に加入する事業者の皆様は各医療保険者に６月中にご照会いただくことが推奨されています。この健康スコアリングレポートを是非ご活用ください。詳しくは日本健康会議HPをご覧ください。（https://2025.kenkokaigi.jp/news/n017）
なお、協会けんぽに加入する事業所は「事業所カルテ」の提供を受けることができますので、各協会けんぽ支部にご照会ください。
健康スコアリングレポートのお問い合わせ　　厚生労働省保険局保険課　dh-kenpo@mhlw.go.jp

◇◇研修会・セミナー等のご案内◇◇
今後の研修会等につきましてお伝えいたします。ぜひご参加くださいますようお願いいたします。
また、当センターホームページ内に「研修日カレンダー」（募集予定も含む）を掲載（随時更新）しておりますので、ご確認ください。↓
https://www.yamagatas.johas.go.jp/news/%e3%80%8c%e7%a0%94%e4%bf%ae%e6%97%a5%e3%82%ab%e3%83%ac%e3%83%b3%e3%83%80%e3%83%bc%

【～ＷＥＢ研修会について～】
・当センターにおけるＷＥＢ研修会は『Ｚｏｏｍ』というオンライン会議システムを使用します。研修会の参加につきましては、ブラウザからのアクセスも可能ですが、アプリケーションソフト「Ｚｏｏｍ」をダウンロードしてのご参加をお勧めします。アプリケーションソフトのインストール可否については、状況に応じ社内システム管理者様にご確認の上、ご対応ください。
研修会当日、音が出ない・画像が映らない等の不具合がありましたら当センターまでご連絡ください。
・当センターＨＰの申し込みフォームよりお申込みください。受講申込みの方には、研修開催前の１週間前後に招待メールをお送りいたします。開催日３日前でも届かない場合やご不明な点がありましたら、お手数ですが当センターまでご連絡ください。（事業所内での招待メールの転送はご遠慮ください。）
・カメラ・マイクなしのパソコンでも参加可能です。同一機関から複数名ご参加される場合は、一人ずつ別々にログインしていただくようお願いいたします。
・やむを得ず欠席される場合は、当日でも結構ですので当センターまでメールもしくは電話にてご連絡ください。

〇【ＷＥＢ研修会】「熱中症予防対策」研修会
日　時　令和５年５月３１日（水）　14:30～16:00
会　場　山形産業保健総合支援センターＷＥＢ会議システム『Ｚｏｏｍ』

研修対象者　人事総務担当者、保健師・看護師・衛生管理者等の産業保健に関わる方
講　師　山形労働局 労働基準部　健康安全課 担当官
　　山形産業保健総合支援センター産業保健相談員（産業医学）　武田 由美子　氏
定　員　４０名
【研修のねらい】
夏季を中心に熱中症が相次ぐ中、職場においても熱中症が発生しており、更には重篤化して死亡災害となる事例も生じていることから「熱中症」を考慮した労働災害防止対策が必要になっています。（高温多湿な環境下において、体内の水分と塩分(ナトリウムなど)のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして発症する障害を総称して「熱中症」といいます。）
厚生労働省では平成２９年より毎年「STOP！熱中症　クールワークキャンペーン」を展開し、全ての職場において基本的な熱中症予防対策を講ずるよう呼びかけるとともに、熱中症の初期症状を早期に把握し、重篤化や死亡に至る事がないよう、キャンペーン期間中、事業者がＷＢＧＴ値を把握してそれに応じた適切な対策を講じ、緊急時の対応体制の整備を図る等、重点的な対策の徹底を図るものとしています。
本研修では、「STOP！熱中症　クールワークキャンペーン」の概要並びに熱中症対策を中心とした事業所における健康管理についてお伝えいたします。
【研修内容】
１　令和５年「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」の概要並びに熱中症による死傷災害発生状況（熱中症事例）等の説明
２　「事業所における熱中症対策」 ～クールワークキャンペーン～
「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」の内容にならい、熱中症対策を中心とした健康管理についての講話
詳細・お申し込みはこちらから↓
https://www.yamagatas.johas.go.jp/workshop/%e3%80%90web%e7%a0%94%e4%bf%ae%e4%bc%9a%e3%80%91%e4%bb%a4%e5%92%8c%ef%bc%95%e5%b

○【医師向け】産業医研修会（ケースカンファレンス）(米沢市)
日　時　令和５年６月７日（水）　18:30～20:30
会　場　米沢市医師会館　（米沢市中央2-3-7）
研修対象者　　産業医
講　師　山形産業保健総合支援センター
　　産業保健相談員（労働衛生工学）河合　直樹　氏　（労働衛生コンサルタント）
　　産業保健相談員（労働衛生工学）本間　直人　氏　（労働衛生コンサルタント）
定　員　３５名　（まもなく定員に達します）
テーマ「化学物質の自律的管理とリスクアセスメント 」
　　1「化学物質の自律的管理に向けた課題」
　　2「化学物質のリスクアセスメントの実際」
※締め切り日前でも定員に達した場合は、申込受付を終了いたします。
詳細・お申し込みはこちらから↓
https://www.yamagatas.johas.go.jp/workshop/%e4%bb%a4%e5%92%8c5%e5%b9%b46%e6%9c%887%e6%97%a5%ef%bc%88%e6%b0%b4%ef%bc%89%e7%9

○【ＷＥＢ研修会】【第160回産業メンタルヘルス研修会】
　「認知行動療法に触れてみよう」研修会
日　時　令和５年６月１５日（木）　15:30～17:00
会　場　山形産業保健総合支援センターＷＥＢ会議システム『Ｚｏｏｍ』
研修対象者　人事総務担当者、保健師・看護師・衛生管理者等の産業保健に関わる方
講　師　医療法人SMC　酒田駅前メンタルクリニック　渋谷 直史 先生
定　員　４０名
【研修のねらい】
　治療効果が証明されている心理療法のなかで、認知行動療法は最も知られた存在となりました。しかしその知名度に反して、実施できる医療機関は少なく、正直「全然広まっていない」です。なぜなのでしょうか？？
　本研修では、認知行動療法がどのような歴史で開発され、どのような方々に対して有効なのか、講師の認知行動療法での失敗・工夫をご紹介しつつ、『認知行動療法を始める前に練習しておきたいこと』を共有したいと思います。
【研修内容】
１　認知行動療法の歴史を知ろう
２　認知行動療法はどんな治療？どんな人に有効？
３　認知行動療法をやってもうまくいかなかった、、、なぜ？？
４　認知行動療法を始める前に練習しておきたいこと
詳細・お申し込みはこちらから↓
https://www.yamagatas.johas.go.jp/workshop/%e3%80%90web%e7%a0%94%e4%bf%ae%e4%bc%9a%e3%80%91%e4%bb%a4%e5%92%8c5%e5%b9%b46%e6

○【ＷＥＢ研修会】「アフターコロナの職場の健康づくりに取り組みましょう！」
　　～職場の健康づくりの知見の向上に係る研修～
日　時　令和５年６月２３日（金）　14:00～15:30
会　場　山形産業保健総合支援センターWEB会議システム『Ｚｏｏｍ』
研修対象者　人事総務担当者、保健師・看護師・衛生管理者等の産業保健に関わる方
講　師　山形産業保健総合支援センター産業保健相談員（産業医学）　武田 由美子　氏
定　員　４０名
【研修のねらい】
　新型コロナも落ち着いて、そろそろ本腰を入れて、感染対策以外の健康づくりにも、積極的に取り組みたい頃かと思われます。事業場の健康づくりの手引きとなるTHP指針（事業場における労働者の健康保持増進のための指針）も改正され、より取り組みやすさが強調されています。改正THPに基づきつつ周辺事項もご紹介しながら、事業場の健康づくりを考えてまいりましょう。
【研修内容】

１　衛生委員会の審議事項 （健康保持増進に関すること）
２　改正THPのポイント
３　実践例
４　いきいき職場づくりのための参加型職場環境改善の手引き
５　エイジフレンドリー 高齢化に向けて
付６　働く女性の健康支援関連
付７　職域におけるがん検診
詳細・お申し込みはこちらから↓
https://www.yamagatas.johas.go.jp/workshop/%e3%80%90web%e7%a0%94%e4%bf%ae%e4%bc%9a%e3%80%91%e4%bb%a4%e5%92%8c5%e5%b9%b46%e6

○【ＷＥＢ研修会】【第161回産業メンタルヘルス研修会】
「ことばの処方箋～外来診療の中で語られている “ことばとものがたり”」研修会
日　時　令和５年７月１３日（木）　14:00～16:00
会　場　山形産業保健総合支援センターWEB会議システム『Ｚｏｏｍ』
研修対象者　人事総務担当者、保健師・看護師・衛生管理者等の産業保健に関わる方
講　師　山形産業保健総合支援センター産業保健相談員（メンタルヘルス）
　　東谷心療内科　院長　東谷　慶昭　医師
定　員　４０名
【研修のねらい】
　外来診療ではいろんな悩みや訴えの患者さんとお話いたします。診療は患者さんごとに少しずつ違う進め方になり、いわゆるオーダーメイドの対応になります。
　しかしその診療を振り返ってみると、特に〇〇療法というわけではないものの、診察室の中で繰り返し語られる“ことばとものがたり”があります。これらは長い時間をかけて磨かれてきたもので、治癒力・パワーがあるのです。今回はその中のいくつかをご紹介いたします。
　皆さんが会社の中で社員さんと向き合う場面での参考になればさいわいです。
【研修内容】
１　不安を訴える方に対して：「不安の背中は意欲です」
２　今後のことについて悩んで決められないという方に対して：「迷ったときは現状維持」
３　頑張りすぎる傾向のある方に対して：「下山した最後に体力を残す山登りのはなし」
４　どうしてうまくいかないの、を繰り返す方に対して：「四法印から一切皆苦のはなし」
５　そのほかあれこれ
詳細・お申し込みはこちらから↓
https://www.yamagatas.johas.go.jp/workshop/%e3%80%90web%e7%a0%94%e4%bf%ae%e4%bc%9a%e3%80%91%e4%bb%a4%e5%92%8c5%e5%b9%b47%e6

○【ＷＥＢ研修会】「健康経営につながるセルフケアとラインケア」
日　時　令和５年７月２７日（木）　14:00～16:00
会　場　山形産業保健総合支援センターWEB会議システム『Ｚｏｏｍ』
研修対象者　人事総務担当者、保健師・看護師・衛生管理者等の産業保健に関わる方
講　師　山形産業保健総合支援センター産業保健相談員（メンタルヘルス）
　　産業メンタルヘルスケア株式会社　代表取締役 後藤 剛 氏
定　員　４０名
【研修のねらい】
　私は精神科医としてリワークプログラム（うつ病からの復職支援プログラム）を運営しています。それと並行して、産業医・健康管理医・労働衛生コンサルタントとして、約40事業所の職場のメンタルヘルス対策に関わっています。
職場のメンタルヘルス対策は、社員自身のセルフケアと、管理監督者や産業保健担当者によるラインケアの両方が大事です。日々の診療や活動の中で学んだことを、事例を提示しながらお伝えします。本研修が皆様の企業の健康経営につながれば幸いです。
【研修内容】
１　三次予防：うつ病休業者の復職支援を中心に
２　二次予防：メンタル不調社員の対応方法
３　一次予防：ストレスチェック結果の活かし方
４　社員一人ひとりのセルフケア
詳細・お申し込みはこちらから↓
https://www.yamagatas.johas.go.jp/workshop/%e3%80%90web%e7%a0%94%e4%bf%ae%e4%bc%9a%e3%80%91%e4%bb%a4%e5%92%8c5%e5%b9%b47%e6

◇◇治療と仕事の両立支援について◇◇
山形産業保健総合支援センターにおける支援
　通院等の治療が必要な疾病（がん、脳卒中、心疾患、糖尿病、肝炎、その他難病など、反復・継続して治療が必要になるもの）を抱える労働者が業務によって疾病を悪化しないよう、また、治療と仕事の両立のために必要となる一定の就業上の措置や治療に対する配慮を事業者が行うことは、労働者の健康確保対策等として位置づけられており、現在、治療と仕事を両立できる職場環境が必要となっています。
　山形産業保健総合支援センターでは、治療を続けながら安心して働くことができる職場づくりを無料で支援しております。お気軽にお問い合わせください。
　　https://www.yamagatas.johas.go.jp/compatibility/
＊＊＊

次号のメールマガジンは６月２６日頃に配信予定としております。
（編集人　副所長　鈴木　保）

◆当センターが開催する研修会・セミナー等（集会形式）における新型コロナウイルス感染症感染防止対策について（研修会等に参加ご希望の方は必ずお読みください。）
【令和５年５月２日現在】
　山形産業保健総合支援センターが開催する研修会・セミナー等（以下、「研修会等」と記す。）におきまして、受講の申込みをされる方は、以下の事項を必ず確認のうえ、研修

会等にご参加ください。事前申込厳守です。
〇講習の開催について
　現時点では、予定している研修会等は感染防止について十分な措置（※１）を講じたうえで実施いたします。
　但し、情勢に変化があったときは検討後、研修会等を中止または延期する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
　また、受講者個人情報（受講者名・所属事業場・事業場連絡先電話番号の以上３項目のみ）を第３者機関（借用会場等）から提供依頼を受けた場合は提供・開示いたしますことをご了承ください。
（※１）当センターで講じる十分な措置
〇受付時において、開始前確認票への記載をお願いいたします。
〇消毒液をご用意しておりますので、入室前に手指の消毒をお願いいたします。
〇会場の定員数を減らしております。座席は指定席とし、最低限人と人が接触しない程度の間隔を空けてお座りいただきます。
〇マスクの着用は個人の判断に委ねることといたしますが、グループ討議など発言を求める研修では着用をお願いいたします。（当センターでマスクのご用意はありません。）
〇研修の合間（約３０分毎）に窓を開放する等による自然換気をいたします。

〇研修会等の受講を希望される方へ
以下のいずれかに該当する方は研修会等の受講をご遠慮いただきます。
１．新型コロナウイルスに感染している方、又は感染している恐れのある方
（PCR検査を受検した方等）〈職場や家族内に感染者がいる場合若しくは感染している恐れのある方も含む〉
２．息苦しさや強いだるさ、味覚障害、発熱（３７．５℃以上）などの症状がある方
３．発熱や、せき等比較的軽い風邪の症状が続いている方（高齢者〈65歳以上〉の場合は、短期間でも症状がある方）
　　欠席または研修会等当日に参加をご希望の場合は、必ず事前にご連絡をお願いいたします。
　　受講者数を制限するため、無断欠席や飛び込み参加はご遠慮ください。

〇受講当日の注意事項
　研修会等を受講される皆様には、以下のご協力をお願いいたします。
・当日、受付等において、前記「研修会等の受講を希望される方へ」１～３いずれかに該当することが確認された場合は、研修会等の受講をご遠慮いただきます。
・受講にあたっては、感染症予防対策にご協力願います。
・マスクの着用は個人の判断に委ねることといたしますが、グループ討議など発言を求める研修では着用をお願いいたします。また、状況により着用をお願いする場合もございますので、各自ご準備いただき持参してください。（当センターでマスクのご用意はありません。）
・研修会等の開催会場では、約３０分毎に窓を開放する等し、自然換気を行います。このため、冷房・暖房効果が損なわれる事がありますので、暑さ・寒さ対策を十分にお願いいたします。
・離間距離の確保について参加者数を制限して可能な限り参加者の離間距離を確保しています。
また、休憩時間中等についても一定の距離を保つようご協力願います。
・会場内における食事は原則禁止ですが、熱中症予防等のための水分補給は、適宜行っていただいて結構です。ただし、飛沫には十分ご留意ください。

◆当総合支援センターでは、事業場で産業保健活動に携わる産業医、産業看護職、衛生管理者をはじめ、事業主、人事労務担当者から、メンタルヘルス対策、作業環境管理、健康診断の事後措置等の「従業員の健康管理」や「治療と仕事の両立支援」に関するご相談に応じています。
　ご相談は、下記当センターメールアドレスあて、ご相談内容をご記載の上、メールにてお送りください。
┌┌┌